

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島大学(原医研)実験研究棟新館	階数	地上6F
建設地	広島県広島市南区霞一丁目2番1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域一部近隣商業	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2019年10月28日
敷地面積	142,646 m ²	作成者	(株)教育施設研究所 向井
建築面積	820 m ²	確認日	2019年10月30日
延床面積	3,984 m ²	確認者	(株)教育施設研究所 河野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 73% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 73%

④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 1.3	スコア = 3.3
設計の計画上特段に配慮した事項 全てのサッシに複層ガラスを採用。又、開口の少ない建物になっている。熱源機器類はINVによる効率化、およびパッケージ選定については、トップランナー機器とした。/ 施工時の環境材料の積極的な使用を推進できる計画内容。(ノンフロン断熱材、グリーン購入適合材料の採用) / 分別が容易な計画(躯体+軽量鉄骨下地+ボード等内装材)	設計の計画上特段に配慮した事項 / 大学病院ということで多くの外来者と学生や職員の駐輪場や駐車場を十分な数量を朝夕の渋滞にならないように分散して設けている。	設計の計画上特段に配慮した事項 構造は重要度係数1.25として耐震性を高めている。設備機器の更新のためゆとりあるPS EPSを設けている。熱源機器類は屋上にゆとりある配置とし、ゆとりあるPSに配管している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される